ボランティア活動

「ボランティア活動がしたい！」また、「社会の現状が知りたい！」と思う学生へ学外からのボランティア情報を発信・提供します。

ボランティアをするまでの流れ

1. 興味のある、やってみたいボランティアを探す。
   キャンパススクエアや学生支援室内にあるファイル、支援室の外の掲示板から閲覧することも可能です。
2. やりたいボランティアが見つかったら学生支援室にある名簿へ記入。
3. ボランティア先の担当者へ学生自身で連絡。
4. ボランティア活動へ！

主なボランティア先

子どもの居場所、県内の小中学校での学習支援、ビーチクリーン活動、イベント運営・補助、自然体験教室　など

ボランティアに参加した学生の声

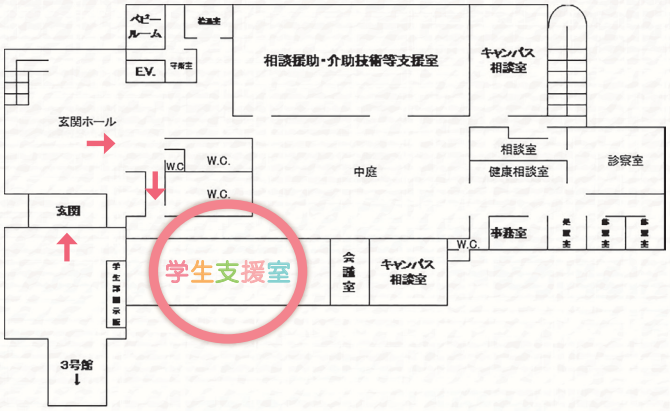
私が数多くのボランティア活動に参加して感じたこととして、大学の講義の中では学ぶことの出来ない、多くの学びがあったと感じます。ボランティア活動を通じて、他者と協力する大切さや、感謝される喜びを実感しました。また、自身の日常では気づくことの出来ない社会における課題や、多くの人と触れ合うことにより自分の視野を広げる良い経験であると感じました。ボランティア活動を始めるにあたって最初は不安もありましたが、周囲のサポート、参加者同士の交流を通じて次第に自信を持って活動できるようになりました。

ボランティア活動は、自分自身の成長につながるだけでなく、社会に貢献する意義を深く感じる貴重な体験であると感じています。今後も積極的に参加していきたいです。

（人間福祉学科
社会福祉専攻　3年　池原 大賀）

学生支援室の場所

9号館1階



〈開室時間〉

平日（月～金）	9：00 ～ 19：00
夏・冬・春期休暇中	9：00 ～ 17：00

〒901-2701
宜野湾市宜野湾２丁目６番１号　９号館１階
TEL：098-893-0069（直通）/ FAX：098-893-0091
E-mail：socwelf@okiu.ac.jp
Facebook ▶沖国大　学生支援室
X（Twitter） ▶@StudentSupportR
Instagram ▶okiu_student_support_room

学生支援室

沖縄国際大学
Okinawa International University

学生支援室は、誰もが大学生活を快適に過ごすことができるよう、配慮を必要とする学生への修学支援を行う窓口となっています。また、学内外でのボランティア活動の支援も行っています。

支援室の役割

・障害学生支援
・障害学生支援のための学生サポーター制度
・ボランティア活動支援

★障害学生支援

大学生活において、何らかのサポートが必要な学生を支援します。

1. 配慮を必要とする学生の相談窓口
2. 身体・聴覚に障害のある学生の修学サポート
3. 学生サポーターの養成

また、配慮を必要とする学生と関わりのある教職員へのサポートも行います。

＜身体・聴覚障害学生への修学サポート＞

1. 授業での手書き・パソコンノートテイク
2. 授業や試験での代筆サポート
3. 授業で使用する映像・音声教材（DVD 等）の文字おこし
4. 支援機器の貸出（ロジャー、タブレット等）

その他、学内の環境整備にも取り組んでいきます。
学内に危険箇所や通行困難な場所があり、改善してほしいときはお声かけください。

学生支援室では、
支援員が皆さんの学生生活を
応援します！

★障害学生支援のためのサポーター制度「学生サポーターとは」

授業の空き時間を利用して、障害のある学生の授業時のサポートを行います。

◆ノートテイク（手書き・パソコン）

聴覚に障害のある学生の耳の代わりになります。授業などで先生が話す言葉をその場で文字化し、聴覚障害学生に伝えていきます。

◆文字おこし

授業で使用する DVD 等の映像教材の音声情報を文字におこします。
講義の空き時間や、休日等を利用してできることが特徴です。

◆代筆サポート

身体に障害がある学生の手の代わりとなって、資料めくりやノートの書き取りなどの補助を行います。

〈内　訳〉

支援内容	謝礼
ノートテイク（手書き・パソコン） 映像･音声教材･文字おこし 代筆サポート	1,200円／時間

＜学生サポーター＆利用学生の様子＞

※「障害」の表記について
本学では、文字表記を「障害」と漢字表記で統一しています。

学生サポーターの声

私が代筆サポーターになったのは、学校での募集を見つけたのがきっかけです。代筆サポーターとして活動することで、ノートをまとめるスキルや情報を整理する力が自然に身についていきます。この役割では、学生一人ひとりのニーズに合わせたサポートを提供するため、各自のスタイルや方法が異なるのが面白いところです。サポート中に「ありがとう」と感謝されると、本当に嬉しくてやりがいを感じます。自分の学科の授業を受けることで復習もできるし、他の学科の講義にも参加できるため、新しい知識を得るチャンスが増え、学びの幅が広がります。また、今後の講義を履修する際の参考にもなり、学業全体への理解も深まります。

代筆サポーターとしての経験は、単に知識を得るだけでなく、他の人とのコミュニケーション能力や協力する力も向上させるので、とてもおすすめの活動です！

（人間福祉学科　社会福祉専攻　4年　久田 萌々香）

利用学生の声

私が日ごろ授業を受けるときは、前方の座席に座れるよう配慮してもらったり、また先生方には、話す際にマスクを外してゆっくりと話してほしいとお願いしたりしています。そして、授業内で見る映像で字幕がない際は、文字おこしをお願いしています。重要な部分を逃さずに見ることが出来たうえに内容をまとめるときにも役に立ったので、とても助かりました。

グループワークの際、最初は何も利用せずに行っていましたが、困ることが多かったので、文字おこしのアプリとロジャーペン＊を利用してみようと思い、試してみました。利用してみて、会話内容を把握し自分の意見を言うことも出来たので、とても助かりました。

大学生活が始まる前はとても不安でしたが、サポート制度のおかげで困ることも少なくなり、理解してくれる友達も出来たので、より充実した大学生活を送れてとてもうれしいです。

＊ロジャーペンとは、補聴器と連携して使用するペン型のワイヤレスマイクです。
ペンを発話者に向けると、その音声を拾い補聴器に届く仕組みとなっています。

（人間福祉学科　社会福祉専攻　2年　来間 有夏）

詳しくは『障害支援のためのHandbook』もご覧ください！